

第85号

申18号

発行日
2019. 5. 24

Super
Highway

スーパーハイウェイ

JR東労組バス関東本部

発行責任者：遠山真一郎
編集責任者：大枝 隆寿
東京都渋谷区代々木2-2-6
J R 新宿ビル 1 3 F
TEL03-3375-5045 (NTT)

2019年度
「夏季手当に関する申し入れ」
要求提出！ おこなう！！

基準内賃金の

3.1ヶ月 要求！

1. 2019年度夏季手当を基準内賃金の3.1ヶ月分とすること。
2. 契約社員Aは社員に準ずること。
3. 契約社員B及び臨時雇用員は一律5万円を加算すること。
4. 支払指定期間は、2019年6月26日～28日の間とすること。
5. 回答については、2019年6月18日までとすること。

ジェイアールバス関東の2018年度期末決算は7億8,400万円を計上しました。また、会社発足以初めて、高速線収入が100億円を超え、将来に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。営業収入では高速線が対前年104.4%、一般線が101.9%と好調を推移し続けています。また、運賃戦略を適切に実施したことも好業績の原動力となりました。そして、地域と共に歩むという方針のもとで進める一般線についても東関東、古河、宇都宮、小諸等の努力が、地域との信頼関係を築き上げながら着実に業績を伸ばしています。その好業績の裏ではJR東労組組合員が一丸となりながら、経営計画を担い、安全について考え、サービス向上に向けて真摯に取り組んだ結果であることは言うまでもありません。

一方、今や社会問題化しているバス業界の安全問題は一層深刻化しています。特に注視すべきは2018年10月に発生した神奈中バス事故や、今年4月に発生した神戸市バス事故等の重大事故は業界の老舗であり大手バス事業者であることです。原因の多くは乗務員の健康に起因する事故です。重大事故の根底にあるのは人材不足と育成の問題や、慢性的な要員不足がもたらす連続勤務や長時間拘束の問題、そして休息時間が不足し睡眠不足の状態での運転業務に就かざるを得ないこと等が要因です。私たちは、これらの問題を自分たちの職場の課題として考え、事故原因究明委員会の活動を強化することをつうじて、真の安全対策を労使の真摯な議論を経ながら確立していく必要があります。そして今こそ、若い人材に魅力のある企業にする為には、組合員が安全で安心して働くことができる風通しのよい労働環境整備を労使の共通認識にして、お客様から選ばれる企業にしなければなりません。

期末決算で示された好調な業績に対する組合員の努力を正當に評価し、組合員と家族が安全と安心を実感できる労働条件を確立する為、申し入れを行いました。

安定経営に対する正當な評価、組合員と家族が、安全・健康・働きがいを実感できる労働条件を確立するために申し入れ！！